

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 30 年 7 月 27 日

香川県知事 殿

報告者

住所 高松市郷東町字新開 5 8 7 番地 1

氏名 日本赤十字社

香川県赤十字血液センター

所長 本田 豊彦 印

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	55 その他の卸売業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	採血業及び医薬品販売業
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成 30 年 9 月 1 日
実施状況の公表の方法	事業所に備えて一般の閲覧に供する。 公表場所：香川県赤十字血液センター
連絡先	担当部署 総務課 担当者 細谷 淳 電話番号 087-881-1500 FAX番号 087-882-8163 電子メールアドレス j-hosotani@kagawa.bc.jrc.or.jp

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
①	第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
②	その他の事業所		
7	香川県赤十字血液センター	高松市郷東町字新開587番地1	
8	香川県赤十字血液センター丸亀町出張所	高松市丸亀町13-3	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			

55			
----	--	--	--

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 29 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		老朽化した空調設備の一部更新					
温室効果ガスの吸収等	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (平成 29 年度) 二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
		国内クレジットの購入			t-CO ₂		
		J-クレジットの購入			t-CO ₂		
	合 計			① t-CO ₂			
	温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 28 年度)	目標年度 (平成 31 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 29 年度)
温室効果ガス 排出量			(二酸化炭素換算 (t))② 465 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 461 t-CO ₂	99.1	(二酸化炭素換算 (t))③ 358 t-CO ₂	77.0
<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A			(二酸化炭素換算 (t))② 465 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t)) 461 t-CO ₂	99.1	(二酸化炭素換算 (t))③-① 358 t-CO ₂	77.0
<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B							
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B							
排出量等の 増減理由	老朽化した空調設備を一部更新したことが削減に寄与したと考えられる						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表 2】

(平成 29 年度)

香川県赤十字血液センター

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス	10.507	千m ³	483		千m ³		483	24.1	
その他の燃料									
小計 ①								24.1	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
	小計 ②								
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	372.26	千kWh		千kWh	372	189.9	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③								189.9	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								214.0	

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh) : 四国電力 0.00051

【別表 2】

(平成 29 年度)

香川県赤十字血液センター丸亀町出張所

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート (NGL)		kl			kl			
	揮発油 (ガソリン)		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)		t			t		
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³				
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①									
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②									
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位	H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
電気	一般送配電事業者 が維持し、及び運用 する電線路を介して 供給された電気	昼間買電	130.344	千kWh		千kWh	130	66.5	
		夜間買電		千kWh		千kWh			
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh			
		自家発電		千kWh		千kWh			
小計 ③									
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								66.5	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								66.5	

電気事業者・排出係数(t-CO₂/kWh) : 四国電力 0.00051

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数													
	ガソリン (kl)		軽油 (kl)			LPG (t)			都市ガス (CNG) (千m ³)		その他			
	台数(台)		台数(台)			台数(台)			台数(台)		台数(台)			
	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く		
香川県赤十字血液センター	22.579	14	12	10.249	5	5								
合計	22.58	14	12	10.25	5	5								

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	22.58	kl	781.23	34.6	GJ/Kl	52.42
軽油	10.25	kl	386.39	37.7	GJ/Kl	26.49
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス (CNG)		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
合計						78.91

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ()

集計表

区分	平成 29 年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2)	280
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	78
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	

合計	358